

最近の雇用情勢について

(令和2年11月)

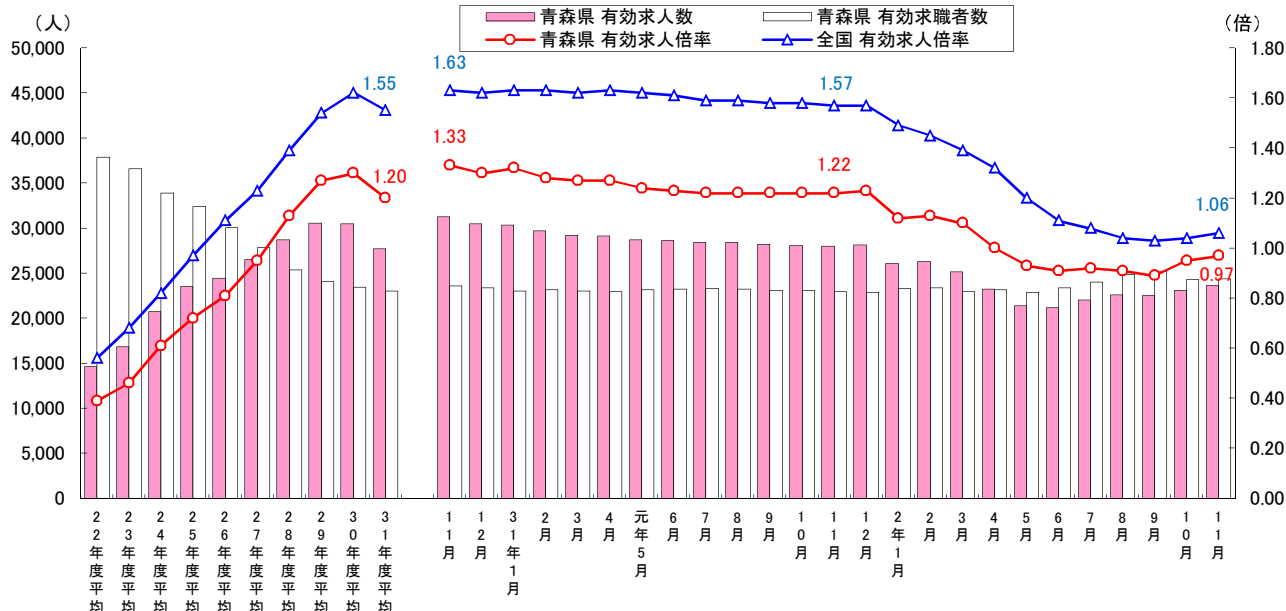
青森労働局

職業安定部

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

11月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ2.6%増加し23,664人、有効求職者数（同）は0.4%増加し24,362人で、有効求人倍率（同）は0.97倍となり、前月を0.02ポイント上回った。
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.06倍で前月に比べ0.02ポイント上回り、受理地別の倍率を0.09ポイント上回った。

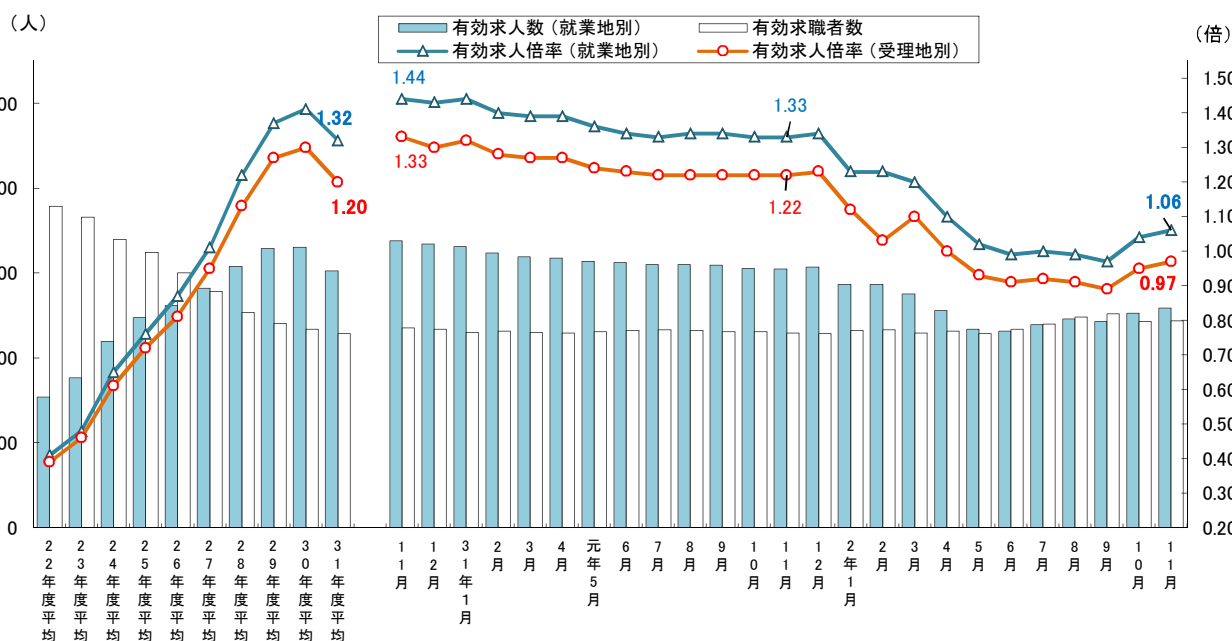
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

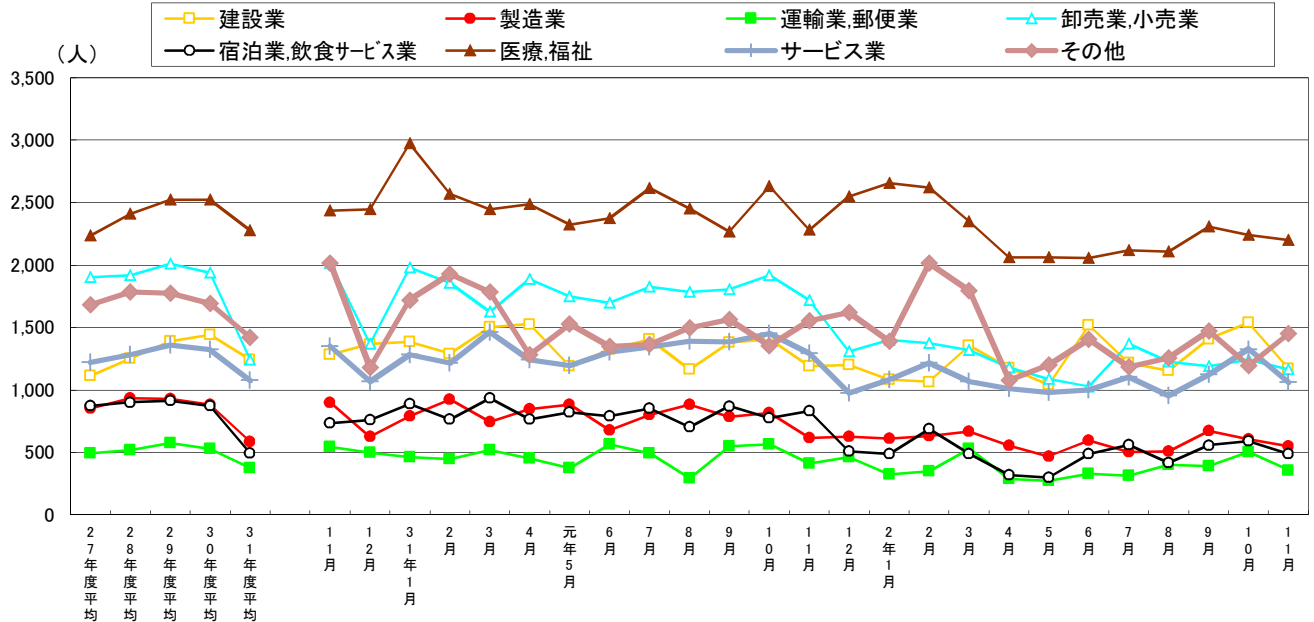
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

11月の新規求人数(原数値)は前年同月比14.7%(1,456人)減少の8,432人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、建設業、製造業、卸売、小売業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、繊維工業等で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電気機械器具製造業等で減少した。



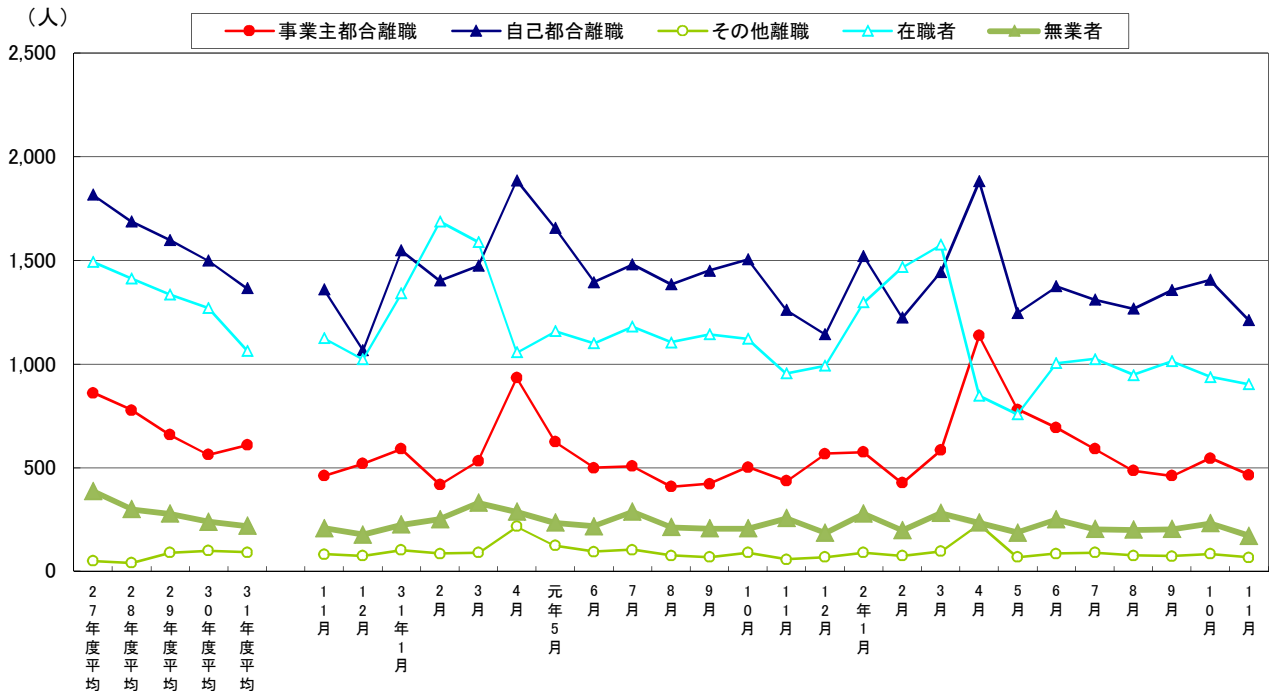
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農、林、漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業、保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

11月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比5.0%(147人)減少の2,811人。

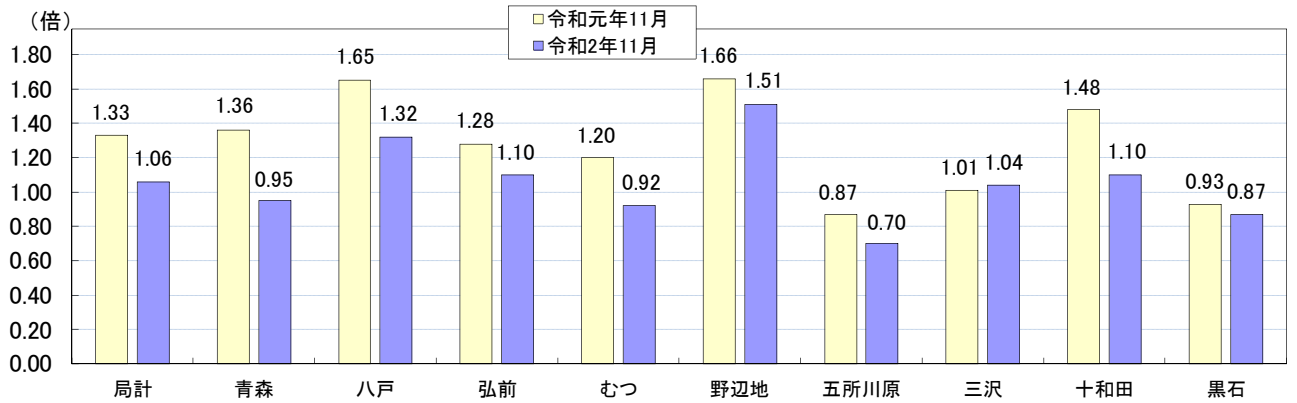
在職区分別に前年同月と比較すると、在職者は▲5.5%(▲52人)、離職者は▲0.6%(▲10人)、無業者は33.3%(85人)減少した。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比6.7%(29人)増加し、自己都合離職は同3.8%(48人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

11月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.06倍となり、前年同月より0.27ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.11	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,464	5,811	5,190	3,746	1,242	814	2,113	1,248	1,107	1,193
有効求人数	23,877	5,505	6,844	4,110	1,137	1,232	1,488	1,302	1,221	1,038

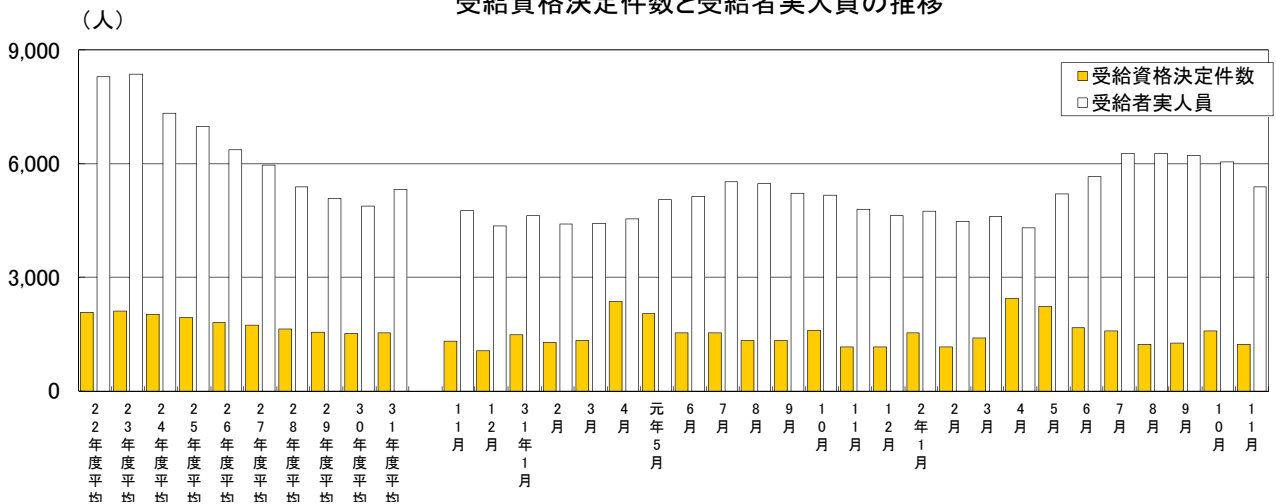
(単位:人)

V 雇用保険の状況

11月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比12.4%(595人)増加、前月比では10.8%(651人)減少の5,390人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比6.6%(76件)増加、前月よりも21.9%(346件)減少し1,232件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比14.9%(33人)増加、前月比4.5%(11人)増加し254人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

